

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 6 月 5 日 (2014.6.5)

【公開番号】特開 2012-226679 (P2012-226679A)
 【公開日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-048
 【出願番号】特願 2011-95789 (P2011-95789)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 1/26 (2006.01)

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 1/00 3 3 1 A

G 0 6 F 1/00 3 1 2 E

【手続補正書】
 【提出日】平成 26 年 4 月 22 日 (2014.4.22)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部に露出した表示面を有する筐体と、
 前記筐体における前記表示面とは反対側の底面側に設けられ、少なくとも一部が前記底面よりも外方へ突出したバッテリーと、
 前記筐体の端部に前記底面から外方へ突出するように形成され、前記バッテリーを覆う凸部と、
 を備える、電子機器。

【請求項 2】

前記凸部は、前記筐体の短手方向の一端側に、前記筐体の長手方向に沿って設けられている、請求項 1 に記載の電子機器。

【請求項 3】

前記凸部は、
 頂部と、
 前記底面から前記頂部へ向かって斜面が形成された傾斜部と、
 を有する、請求項 2 に記載の電子機器。

【請求項 4】

前記傾斜部は、
 前記底面の前記短手方向の一端側から前記頂部へ向かって形成された第 1 の斜面と、
 前記底面の前記短手方向の他端側から前記頂部へ向かって形成された第 2 の斜面と、
 を有し、
 前記第 1 の斜面の前記短手方向における幅は、前記第 2 の斜面の前記短手方向における幅よりも小さい、請求項 3 に記載の電子機器。

【請求項 5】

前記バッテリーの形状は、円筒形状であり、
 前記バッテリーの長手方向が、前記筐体の長手方向に沿っている、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 6】

前記凸部内において前記バッテリーの周囲に設けられ、前記底面側から音を発するスピーカ部を更に備える、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 7】

前記凸部内において前記バッテリーの周囲に設けられ、通信ケーブルと接続する接続口を更に備える、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 8】

前記表示面に重畳して設けられた入力操作用のタッチパネルを更に備える、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 9】

前記凸部に係合し、前記凸部及び前記表示面を覆う保護カバーを更に備える、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 10】

前記筐体は、

入力部を有し、前記バッテリーと前記凸部が設けられた第 1 の筐体と、

前記表示面を有し、前記第 1 の筐体に対して移動可能な第 2 の筐体と、

で構成される、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項に記載の電子機器。

【請求項 11】

前記入力部は、複数のキーを有するキーボードであり、

前記第 2 の筐体は、

前記第 1 の筐体と重なって前記キーボードを覆う初期状態と、

前記初期状態から前記第 1 の筐体に対してスライドして、前記キーボードが露出するスライド状態と、

前記スライド状態から前記第 1 の筐体に対してチルトしたチルト状態と、

の間を遷移する、請求項 10 に記載の電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

斜面 147 は、底面 132 の短手方向の一端側から頂面 143 へ向かって形成された斜面である。斜面 147 は、本体側筐体 120 の長手方向に沿って形成された矩形状の面である。斜面 147 には、不図示の通信ケーブルと接続する接続口 155（図 13 参照）が設けられている。接続口 155 は、凸部 140 におけるバッテリー 160 の周囲のデッドスペースに設けられている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

斜面 149 は、底面 132 の長手方向の他端側から頂面 143 へ向かって形成された斜面である。斜面 149 は、本体側筐体 120 の短手方向に沿って形成された三角形の面である。斜面 149 には、スピーカユニット 300 に対向する位置に開口部 157 が形成されている。開口部 157 は、スピーカユニット 300 が背面から発した音を外部へ伝達する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

前述したように凸部140はバッテリー160をカバーするものであるが、本実施形態では凸部140とバッテリー160の間のスペース（デッドスペース）に、スピーカユニット筐体220を配置させている。つまり、本実施形態によれば、スピーカユニット200、300を配置させるための専用スペースを設ける必要が無く、凸部140のデッドスペースを有効活用できる。